

まちのこえ取材記録(16.天塩かわまちづくり協議会)

天塩かわまちづくり協議会の活動内容は？

Aさん

かわまちづくり協議会ができて、何年か後に入らせていただいたのですが、結構長い間の活動になっていまして、天塩川河口の町ということで、川を中心に活動というような内容で、いろんな町民の皆さんに関心を持ってもらうということで、いろんなイベントをやっており、広報でもたまに年間に3、4回、勉強会という形でずっとやってきています。

ここ2年ほどは年2、3回ということで、今年も去年からのコロナ禍の中でなかなかイベントの開催もできないということで活動は停滞気味にはなっています。

町民の皆さんにいろんなことに参加してほしいということで、例えば、大きな町のイベントとしてはしじみまつりとか、味覚まつりなんか開催しますが、そこに便乗させてもらうというか、鏡沼を使った和船を体験してもらう活動とか、天塩町フェスタということで、今まで6回開催、夏にやったり、冬にやったり。フェスタの内容については様々ありますけども、そういうことで、1人でも多く参加してもらってということで、毎回検討を重ねながらやってきているところです。

まちづくりについて感じることは？

Aさん 酪農の町てしおと言われて久しいんですけども、今言ったように展示物の関係や、天塩町はもっとPRできるようなそういったものをできないものかと。やってもなかなか広く浸透していかない。そういう面にもっと力を入れてほしいというふうに思います。

Bさん かわまちづくりのこれは今まで商工青年部でいろいろフットパスの部分で前回できてるんで。うちの方もかわまちもどうしても、町の中から、ああやって綺麗な河川公園ができてるんで、あそこまでどういうふうに誘導してやれば、町の中を歩いていけないかということで今、道の駅と夕映の方に自転車の方を無料でやってるんですけど、そういう状況であります。

あと河川公園の方にもサインボード、鏡沼へどれぐらい行ったらいけるかとか、河川公園の方のところに何個かサインボード立てている。そういう資料があったらよかったですけども、看板をやったことによって、そういうような実績があったということ。

せっかく町中、天塩町も網の目になったいい場所ですし、歴史資料館という立派なレンガがありますし、河川公園も立派な、あとは鏡沼があるので、そこをどうお客さんが天塩に来て、町中を見てもらうかという部分で、そういうフットパスのコースの移動とか、かわまちもいろいろ考えてます。

その部分を、町を知ってもらうという意味で出ていければいいかなというのが課題としてあると思います。

天塩町フェスタということで、途中から私に関わっているんですけど、天塩の人のみんな、小さい子ども達もなかなか遊べる場所がないと。

そういう部分で、夕映の中であったりとか、あとは福祉会館であったりとか、あとは河川公園でやったりとか、そういう部分で皆さん、集まれる場っていうのをやったんですけど、去年はコロナ禍で中止になったんですけど、これをどうにか今年か来年かもう1回復活していきたい。

そういう中でかわまちがこうやってきたことを実際、パネル化してやってはいるんですけど、なかなかやっぱりそこらへんの浸透がまだまだなされていらないのかなという部分もあるんで、そこは今後どうやっていくかが課題なのかなと思ってます。

Cさん

かわまちづくりは最初から入っていたんですけど、4つの分科会で、歴史・自然・交流・食と4つの分科会で大体10人ぐらいずついたんですけど、最初は少なかったんですけど、最初、役場で推薦した人が段々辞めていって、実は今ここにいるメンバーも天塩川を清流にする会からほとんどダブっている。

その4つの歴史・自然・交流・食、みんなそれぞれ考えて、実は平成29年に食で天塩國の弁当みたいの作ってくれと。私、詩吟やっているもんだから、天塩町で詩吟の道北大会やったんです、北北海道大会。155人ほど集めた時、この食の部会に弁当を作ってもらって、大変好評でした。

そんなこともやりながら、なんとか天塩川を通しながら、この地区で自然とかをいかしながら、天塩の町をどうするかというようなことを何回も討論した記憶があります。

そんなこともあって、平成27年から先ほど〇〇さんが言っていたように、それなりのはしたんですけど、結構いろんないい意見は言うんだけど、なかなか実践との結びつきがない。これだけ話し合いしてても、もう少しできるだけ実践しようという意見もあって、そこそこは実践してるんですけど。

それから歴史資料館、天塩小学校の3年か4年連続して、3年生か4年生が地域教材であるんですよ。校長先生が知ってた人だから、Cさん、頼むと言われて、何回か、1年に2回、3回と行って、説明したことがあります。こっちは一生懸命勉強しなきゃならないかなと思って。

資料館は〇〇教育長さんの時代かな、その前だったかな。かつて、あそこに資料館を作る指導した〇〇大学とか、そういう先生方が来て一生懸命しているんだけど、我々は少し変えた方がいいんじゃないとか、いろいろ言うんだけど、それじゃ駄目だとかって言って。確かに他の市町村から見たら、立派に中の物はね、結構。羽幌や初山別や増毛、留萌から見たら、天塩の方がいいなと思うんですよ、中も。

ただもう少し、宣伝というか、それがしてないなと思って。ただ学芸員もいないし、これはこうだよ、こうだよって説明するんだけど、天塩小学校の校長にCさんやってくれって言われて、それで3年ほど行った記憶があるんです。ここ2、3年は行ってません。

Dさん いろいろな会に入っているとやっぱり、メンバーも固まった人しか入ってないので、本当にまちづくりとしても、議員さんでも町としてもいろいろとやってるのは熱意は伝わるんだけど、中途半端に終わったり、事業にしても何にしても。

何か成し遂げてやってるかっていったらやってないのかなって。もうちょっと頭を柔らかくして、町民と触れ合って考えてほしいなというか。

Eさん 天塩町の場合は道の駅に人が30万人くらい集まる場所なんで、あそこでやる気のある人に町の力を貸して上げて経済的に自立できるような形ができていくのいいかなって思ってます。

私が関係してる交通安全協会で、連合会4町、遠別から豊富までやってるんですけど、やっぱり人口が減って、免許の人口が減って、窓口っていうのは会で人件費とか払ってて、今のところ、収支っていうのが天塩町から25万円、3町から15万円ずつ、70万円の補助もらって人件費にあてて、なんとか窓口業務をやってるような状態なんです。それはもう昭和のシステムで、今、平成終わって令和になってるんで、システムの変更が必要だと。

なぜかという、免許自体もネットでの更新をできるようにいろいろ旭川方面の会議とかでも発言してるんですけど、それとネットの駄目な人は町の住民課が手伝ったりとか、そういう形で、形を変えていかないと昭和のシステムがそのまま続いているような団体はもうちょっともたないだろうと。

それがずっと継続して行政だとよく同じパターンで変更しないで、ずっと昔のやり方でやってくパターンもあるんです。

イベントやっても縦割りで、例えば、商工会青年部があそこで夏祭り、ビールパーティをやったとしたって、資料館のベンチは貸さないとか、なぜそういう協力できないんだっていうふうに思っちゃうんですね。商工の話で教育委員会が歴史資料館管理してるから、うまく話できないとか、何かそういう、つまらない事情でものが進まないとか。

だからお金がないんだったら、お金をかけるところを集中して、例えば僕は道の駅をもう少しみんな活用できて、商売やる人が自由に参加できるようになって、経済的につながれば恵継続できるような形だと思うんです。

ただ今までのイベント型で、ただお弁当作ったけど、作ってる側って負担が大きくて続けられないんですよ。だから、そういうことでやる気のある人を全員には無理なんで、手をあげる人の協力できるような町になれば、それが道の駅を中心にした形で活動できれば人が集まれば、お金の繋がるというふうに思います。

Eさん ただですね、今、かわまちづくりの制度として、あと1年だけ国土交通省が手助けしてくれて、検討会とかやってくれるんですけど、国土交通省の手が離れた時に続けていけるかどうかというのが今のままだと厳しいのかなって、実際思ってます。

制度に手をあげて何年間だけは国が面倒見てくれていろいろやってくれたんですけど、それが離れた時に、町と協議会ってなった時にうまくできるのかなって、また新たな考えを持たないと協議会っていうのは厳しいかなって。

ただ、町からお金の補助をもらわないで自分たちで続けるようにフェスタをやって、収支でとんとんまでいければいいねって形でそういうお祭りとかをちょっと試みてやったっていうのがあるんですね。

だから、このまま、国土交通省が1年後、全く手を放した時に、今の状態で続けるっていうのはやっぱり町が相当音頭取るか、うちらがもっとやりたいと思わないと続けられないんじゃないかな。

例えば、今なくなるっていうわけじゃなくて、そういう和船の関係で鏡沼でお手伝いするのは、そんな、お手伝いするんですけど、組織として抜けるっていうのが、もうなんかやっぱり10年近くやってるんです。なんか疲れてきたっていう。

だから、もうちょっと、まちづくりの関係って分かるんですけど、若い世代が参加できるようなことを知恵を絞っていかないと。もうAさんなんて年ですよね、若く見えるけど、会長やって。僕、もう56です。〇〇だって50歳ですから。

だから若手が子育てで厳しいんだったら、何かこう違う、さっき子供が集まる場所って話ありましたけど、今聞いたら、スポーツセンター、フリーWi-Fiでゲームが無料でできて、友達が集まって、ちょっと遊べる場所があるから、子ども達が集めるのスポーツセンターのフリーWi-Fiがすごく使ってるとか、ああ、今そうなんだって。

そういう何かお金ないなら、ポイント、ポイントで。僕は分かってて、〇〇君が言った道の駅にプレハブでも建ててっていうのがすごく、鏡沼の今の店舗も何も全然使っていないのもったいないんですけど、移転って、プレハブでもいいから、ああいうところに何かやりたい人にちょっと町が応援してあげればいいと思うんですよね。

Aさん なんとかしたいっていう気持ちは皆持ってるんだけど、ただその熱意を伝えて、賛同して、したら俺も入れてやっていう状況はなかなか作れないんですよね。

Eさん 天塩高校について1つ、提案というか、子供が少ない中で天塩高校に来てもらって、やっぱり天塩高校に来て大学行けるんだよって、なんか町が各大学に行って、推薦の枠1つぐらいずつもらってきてですね、天塩高校でもちょっと勉強頑張れば、そこそこやれるようなそういう活動してもいいかなって。

今、なんか、こう家の上の子は天塩高校行かせてもらって、下はちょっと札幌の学校行かせたんですけど、上の子は天塩高校に行かせて良かったんだと思ってるんです。結果としてですね。

天塩高校で今、お金いっぱいかけてますけど、子供の数が減ったら、どうしても一間口になってきて、ただ、田舎に暮らしていると15で子どもと別れるか、18で子どもと別れるか、その選択ぐらいなんですよね。

だから、それだったら天塩の高校に行ってもらって、勉強して大学行けるシステム、例えば、町の奨学金なんか作って、町に戻って就職してくれたら奨学金返さないでいいというか、町に戻ってくれるようなお金の使い方もいいんじゃないかなって。

それは今、〇〇、天塩高校に子ども行かせてるし、〇〇も天塩高校に子ども行かせてるんで、そういう地元で高校、田舎が過疎化するのには高校がなくなるのと病院がなくなるのが一番過疎化に繋がる。

ただ、現実として、15で高校でるか、18で学校出てくるかの選択なんで、せめて18ぐらいまで地元で、親と一緒に暮らせて、天塩高校で頑張ってもちゃんと真面目に頑張れば大学に行けるんだよという、そういうのを町で応援してあげけるような形があれば。

町のお金が高校に結構使ってますけど、振りかえるならそういう使い方もあるかなと思います。

Cさん 天塩高校の話ですけど、〇〇町長の時かな、あの時、教育委員会を中心に3町、それから中川商業がなくなるってというようなことで、なくなってから天塩高校に入ってくださいということで、随分、宣伝に行っていました。

それで僕らも天塩に戻ってきた時、天塩中学のいわゆる、ちょっと、この席だから言うけど、例えば、1番から10番ぐらいまでの生徒が半分以上、他の、例えば、旭川・札幌の高校に受験するってというような状況でしたね。

それでできるだけ、天塩高校に残るようなね、結構、18年ぐらい前の話ですけど、割と、いや、天塩高校に入るから勉強しなくてもいいんだっていう、そういう風潮あったんですよ。

Cさん 学力的にはね、留萌は高い。石狩・上川・留萌って、どっちかっていうと小中の学力は高いんですけど、何年か本当に家庭訪問して、逆に天塩に入れなさいと、天塩トップになるように行きなさいと言ったことあって、それで当時は本当に点数言ったら、ここでは言えないような点数でも入ってるんです。

私も天塩高校だけど、我々の時代だったら100人しか通らなかつたら。その時1千人ぐらい、中学生、同じ学年が3町にはいたんですよ。ですから、10人に1人ぐらいしか天塩高校には入れなかつた時代あったんです。

それで、これじゃ駄目だと。やっぱり小中学校の学力を上げなきゃ駄目だということで、確か、〇〇教育長の頃かな。その時、小中学校の学力をどうやって上げたらいいかということで、天塩町として行い、教頭先生や校長先生にお願いして、作ってもらって、学力を上げる方法って。それで研究会、僕らもガンガンやりました。

そんな指導してたら学力付くかとか、ちょっと極端なことも言ったこともあるんですけど、天塩中学校行ったり、小学校でね。要するに授業を見たら分かるんですよ。教室、先生も含めて、これは学力どうやって付けてるんだと。はっきりいって。

そんなことで、やっぱり親にしてみれば、いい大学に入れないからっていうことで旭川に行ったり、札幌に行ったり。それで大分、その後、校長先生も先生方も天塩高校に、さっきも聞いたけど、5千万なんだね。

そういうことで学力対策協議会って作って、教育委員会中心で、校長、教頭に入ってもらって作ってやったら、各町村全部、留萌管内、天塩作ったら皆作ってしたことがあります。

今どれくらいあるかなって思って、ちょっと分析はしてないんだけど。毎年、中学2年生かな。小学校5、6年かのテストで、一時、学力テストうんぬんということで、学力テスト残酷物語とかって言われたことあった。全国的にね。

いろんなものあったけど、そういう点では大分、天塩もある程度、教室設営にしても学力をつける方向に行ってる感じします。だから、天塩に来た校長や教頭、頑張らなきゃ駄目だよって言うてるんですけど。

Eさん 高校についてはもう1つだけ。最終的に子どもが減った時に町立高校にするかどうか、選択肢の中にあってですね、町立高校にすれば学校の先生は来るみたいです。ただ、事務とか、事務系の人間が町の負担になるだけなんで。そういうのを視野に入れた考えもあるのかなって。

このまま人減ってきて、高校なくすっていうような話になった時に選択肢に出るのかなっていう。日高高校とか、そういうのが町立高校でやってるって資料取り寄せて聞いた時に、それぐらいの負担なんで。

こういう話は子どものいる親の前で議論すべきで、実際自分の子どもが中学生だったり、高校生だった時、高校卒業しちゃうと、やっぱり離れちゃうんですね。高校から。

だから、そういう話はきっとこれから小学生の親とか、中学校の親に今言った、町の話聞くっていうことで、こういう考えもあるよとか、こういう選択もあるっていう話をしてあげていくのが大事だと思うんです。

Eさん 町の飲食店を助けてあげてほしい。今は。何か知恵絞って。なくなりそうだから。

実感としてなんですけど。僕、結構、外食してる方だと思ってるんですけど。やっぱりお客さん、全然行ってないんですよ。町に例えば、居酒屋がなくなって、飲み屋がなくなっていいのかって考えたら、やっぱり少しでも残ってもらいたいなと思うんで。

例えば、直接補助とか、いろいろ意見があるの分かってるんですけど、例えばこの間、プレミアム、国から補助をもらって出したじゃないですか。最初に飲食券付いてましたよね。そしたらやっぱり町で使わない人が多いから飲食券いらんっていう意見が出たんだったら、例えばその分を補助に回してもいいんじゃないかなって。

そういう回ってきたお金だったら、そういう制度あってもいいんじゃないか。ただそれは町のいろんなやり方であるんですけど。

これがもうちょっと続いてったら本当に町の飲食店なくなってもいいのかなみたいな。

ただそういう、町民が例えば、温泉がもういらなくなったら温泉にお金かけるのはどうなのと。病院に、地方の病院行くからいらんって町が選択するんだったら、それはそれでありなんですけど、何かそういうので、町として食べ物屋なくなればあまりにも寂しいんでね、助けてあげてほしいな。議会にも頑張ってもらいたいなと思います。

議会や議会だよりの印象は？

Aさん よくできてて、特に私はないですけど。

Bさん なかなかそのタイミングが合わなくて、実際に議会を見に行ったことはないんですけど、町の声が一番に反映してくれるのが議員さんからが一番早いのかなと思うんですけど。

 うちの場合、議員さんと話ができるきっかけの何か、どっかでこうやって、議員さんとうちらが集まる場みたいなのが、毎月でなくてもいいんですけど、どっかでそういうのがあってもいいのかなって思うんです。なかなかね、こうやって近くで、こういうふうに話をすればいいのかもしれないけどね。

 実際そういう場があって、こういう町の方にも声かけて、今、こうやって話をしたことによって分かってきたっていうのがあると思うんで、こういうきっかけをどっかで作ってくれてもいいのかなって。

Dさん 毎回、すごい楽しみで見ているんですけど。議員さんとなかなか、こうやって、町で会っても挨拶はしてくれるけど、町の声はどうだかって感じて振ってこないっていうか。

 自分から言ってもスルーされる議員さんもいれば、きちんと親切に聞いてくれる人もいるんだけど、なかなか議員さんでも、ちょっと言葉悪いんですけど、もうちょっと住民の声を汲みあげてっていうか、もっと聞いてほしいなって。

 いろんな人に話したいし、いろんな仕事してますけど、除雪に対してもそうですし、きちんと理由があって言ってるわけだけど、もうちょっと検討してほしいなって。それが全然目に見えてこない。

 だからいつもこの人に言っても無駄なのかなって。誰に言ったら通じるのかなって。役場職員にしてもそうです。自分の父が役場にいないから、結構、言いやすくなってきたのはいるけども、ただ、議員さんもそうですけども、役場職員もそうですけど。

Eさん 議会についてもそうなんですけど、やっぱり議員に立候補する方は町を良くしようという根本的な考えでやって、うちもそうなんですけど、10年先、天塩町の未来が少しでも豊かになれば、そういう思いで活動できれば結構いいんじゃないかなって。

みんな得意、不得意あるんで、そういう得意分野で、町が少しでも豊かになったりするような考えで活動できれば。得意分野で皆やれば何とか。そういう思いがあったらいいんじゃないかなっていうふうには、最近そういうふうに思うようにしてます。

例えば、今年56なんですけど、自分に対しても15年、70ぐらいかなっていうか、自分に投資っていうか、15年ぐらい先の投資ぐらいしかできないんだらうなっていうふうに思った時に、やっぱりこの天塩の町のことは好きで、だから、ちょっとでも町が豊かになるような活動できればいいかなという思いでやってますし、議員の方、議会だよりもそうなんですけど、こういう中で、自分の主張というか、得意分野で町がよくなるように活動してるっていうふうに思ってますんで、得意分野で頑張ってくればいいと思います。